

忘年山行・懇親会に参加して

2022年締め忘年山行は、12月17日（土）に飯能市の天覧山・多峯主山登頂、その後同市内の中華レストラン王記で懇親会が開催されました。

24名の参加で飯能駅10時スタートし、最初の目的地天覧山を目指します。天覧山は標高195mの低山ですが、登山道も良く整備されていて山頂からの眺望は良く、小さいお子さんとの親子登山にも人気がある山です。最近ではアニメ「ヤマノススメ」の聖地巡礼の地としても人気です。飯能駅から20分ほど一般道を歩き登山口へ、登山口からは整備された登山道を10分ほどで中腹に到着。広場・東屋・トイレも整備されており小休止。そこから、小さな岩場を登って一気に登頂です。岩場には、徳川5代将軍綱吉の生母、桂昌院が奉納した16羅漢像があります。以前この山は「羅漢山」と呼ばれていました。その後明治天皇が軍の演習を視察するため登頂してから「天覧山」と呼ばれます。

この日は、雨の心配もありましたが、曇り一時青空がのぞく山行には良好な天候でした。残念ながら富士山は望めませんでした。天覧山で記念撮影後、次の目的地多峯主山に向かいます。トウノスヤマと読みます。私は地元出身ですが、最近まで読めませんでしたし、場所も知りませんでした。今回初の登山です。天覧山山頂から滑りそうな急坂を下り湿地に出ると、そこから右に折れ緩やかな登りになります。登り始めたところに、この地域にしか生息しないと言われる飯能笹が出現します。飯能笹の案内もあります。そこからはちょっと急な木段が続きますが、10分ほどで山頂に到着します。天覧山からの眺望もなかなか良かったのですが、多峯主山山頂からの眺望は、さらに素晴らしい眺望です。天覧山が標高195m、多峯主山が標高271mとどちらも300mに満たない低山ですが、どちらも眺望は素晴らしいです。都心のスカイツリーから富士山（この日は見えませんでした）、秩父山地まで眺めながらの昼食は、非日常を満喫できます。お勧めです。

多峯主山でランチ休憩後下山に足を進めます。下山ルートは、江戸時代この地の領主黒田直邦公の墓所を経て、御嶽八幡神社から御嶽八幡神社登山口までを取りました。黒田直邦公の墓所を過ぎて、「雨乞い池」を見下ろすところにトイレも整備されていて安心です。登山口からは一般道を次の目的地へ向かいます。途中飯能市博物館を見物、小休止して最終目的地に向かいました。最終目的地は、懇親会場の中華レストラン王記です。王記は、飯能在住の会員児嶋和夫さん、町田美春さんから推薦を頂きました。飯能駅北口から徒歩3分、近くて安くて美味しくボリュームもあります。こちらもお勧めです。紹興酒を美味しく頂きました。懇親会には20名の方が参加されました。皆様楽しいひと時と過ごされたと思います。ご長老の右川清夫さんのご挨拶を始め、皆さんに多くの元気を頂くことが出来ました。有難うございました。この紙面をお借りして御礼申し上げます。

山行報告と感想を含め、昨年入会新人の大野国光が報告させて頂きました。



忘年山行報告：右隅が大野 国光会員